



みな無名



宮坂静生

ほろほろと著義戦没者みな無名
新樹大樹祈るむなし長かりし
こんな大きな緑陰死にきれぬ魄
萬の遺骨いま青揚羽運びくる
春の鮫永代供養とはなんぞ
蝌蚪の水憲兵司令本部こそ
筍煮板のごとくに御国とは
軍人は騎上好きなり虻は宙

赤紙が来ぬさみしさも蚯蚓脹れ
父母の世の勤労奉仕渴眩み
餉飯や族に軍人ゐなき恥
ひとりぐらゐ名譽の戦死夏の豚
日本へ還りたくなき落鷹か
皇居まだ一度も知らず春の暮
たそがれの千鳥ヶ淵の守宮かな
さくら供華第五福龍丸永眠

*
夢の島とは死の灰の涼しげな